

# Agilent PLgel MIXED-E 3 $\mu\text{m}$ カラムを用いた ゲルろ過クロマトグラフィによる ポリスチレン標準試料の分析

## 技術概要

### はじめに

以下のゲルろ過クロマトグラフィによるポリスチレン標準試料の分離では、分子量 580 の複数のオリゴマーを分離しています。ただし、分子量 34,500 の標準試料は排除されています。

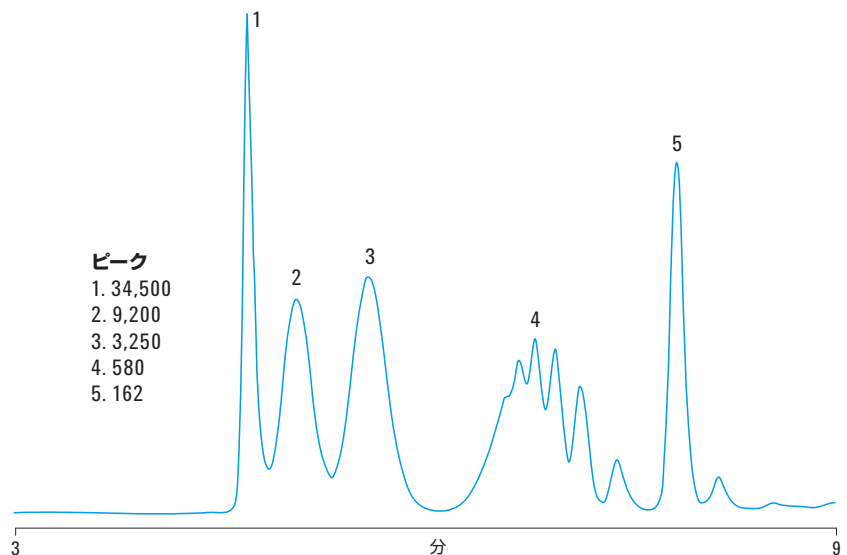


図 1. Agilent PLgel MIXED-E 3  $\mu\text{m}$  カラムによる低分子量ポリスチレン標準試料の分離

### 条件

カラム	Agilent PLgel MIXED-E 3 $\mu\text{m}$ 、300 mm x 7.5 mm (P/N PL1110-6300)
溶離液	THF
流量	1.0 mL/min
検出器	UV、254 nm
システム	Agilent PL-GPC 50



Agilent Technologies

## Agilent PLgel MIXED-E 3 $\mu$ m カラム

Agilent PLgel MIXED-E 3  $\mu$ m カラムは理論段数が高く (> 80,000 N/m)、分離可能な分子量範囲が広い (ポリスチレンの場合で 30,000 Da まで)、低分子プレポリマーの分離に適したカラムです。

## アジレントの GPC/SEC カラムおよびスタンダード

アジレントは、分子サイズに基づいた高度な分離を行うために必要な GPC/SEC カラムおよびスタンダードを幅広く取り揃えています。また、GPC/SEC によるポリマーの分離・同定を行うための先進的なソリューションを提供し、詳細なポリマー分析に必要なシステム (装置、カラム、スタンダード) を自社で製造しています。

[www.agilent.com/chem/jp](http://www.agilent.com/chem/jp)

アジレントは、本文書に誤りが発見された場合、また、本文書の使用により付随的または間接的に生じる損害について一切免責とさせていただきます。

本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。著作権法で許されている場合を除き、書面による事前の許可なく、本文書を複製、翻案、翻訳することは禁じられています。

アジレント・テクノロジー株式会社

© Agilent Technologies, Inc., 2011

Printed in Japan

April 22, 2011

5990-7937JAJP



**Agilent Technologies**